

令和4年度東御市病院事業 決算状況

1、病院事業全体

○基準外の市単独補助金を繰入れることなく、73,630千円の黒字決算となりました。

(単位：千円)

収支項目	決算額	R3決算額	比較 (R4-R3)
事業収益 ①=㊷+㊸	2,151,387	2,008,574	142,813
医業収益 ㊷	1,620,788	1,570,290	50,498
(1) 入院収益	509,429	534,932	▲ 25,503
(2) 外来収益	860,207	761,839	98,368
(3) 基準内繰入分	37,991	37,991	0
(4) その他収益	213,161	235,528	▲ 22,367
医業外収益 ㊸	530,599	438,284	92,315
(1) 基準内繰入分	209,418	214,115	▲ 4,697
(2) 基準外繰入分	0	0	0
市単独補助	0	0	0
その他補助	1,717	0	1,717
(3) 補助金	294,962	207,959	87,003
(4) 上記以外	24,502	16,210	8,292
事業費用 ②=㊹+㊺	2,077,757	1,930,553	147,204
医業費用 ㊹	1,956,010	1,848,328	107,682
(1) 人件費	1,035,200	1,032,091	3,109
(2) 材料費	254,016	229,642	24,374
(3) 経費	482,185	423,565	58,620
(4) 減価償却費	152,515	144,684	7,831
(5) 資産減耗費	28,452	16,815	11,637
(6) 研究研修費	3,642	1,531	2,111
医業外費用 ㊺	121,747	82,225	39,522
事業損益 ①-②=㊻	73,630	78,021	▲ 4,391

前年度繰越利益剰余金 ㊼	240,809
当年度純利益 ㊽	73,630
当年度未処分利益剰余金 ㊼+㊽	314,439

2、事業別収支

○病院3事業それぞれの決算状況は、下表のとおりです。

(単位：千円)

	収支項目	決算額	R3決算額	比較 (R4-R3)
市民病院	① 事業収益	1,956,186	1,830,777	125,409
	② 事業費用	1,875,636	1,752,096	123,540
	経常損益 ①-②	80,550	78,681	1,869
温泉診療所	① 事業収益	154,215	138,483	15,732
	② 事業費用	130,683	103,139	27,544
	経常損益 ①-②	23,532	35,344	▲ 11,812
助産所	① 事業収益	40,986	39,315	1,671
	② 事業費用	71,438	75,319	▲ 3,881
	経常損益 ①-②	▲ 30,452	▲ 36,004	5,552

令和4年度東御市病院事業 患者状況集計

項目		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度 ②	令和4年度 ①	比較 ①/②	
市民病院	外来	延患者数 (人)	68,996	66,576	54,939	58,426	63,623	108.9
		内科	18,529	18,721	17,365	17,997	20,759	115.3
		外科	5,258	5,877	5,043	6,552	2,817	43.0
		整形外科	13,220	11,991	10,057	7,323	9,278	126.7
		小児科	17,635	16,166	9,795	13,434	17,510	130.3
		眼科	4,516	4,239	4,056	4,645	4,649	100.1
		透析	8,076	8,072	7,833	7,777	7,763	99.8
		産婦人科	1,420	1,310	664	698	847	121.3
	泌尿器科	342	200	126	0	0	--	
	一日平均患者数 (人)	282.8	275.1	226.1	242.4	261.8	108.0	
	入院	延入院患者数 (人)	16,832	17,456	14,561	15,932	13,594	85.3
		一日平均患者数 (人)	46.1	47.7	39.9	43.6	37.2	85.3
		病床稼働率 (%)	76.8	79.5	66.5	72.7	62.1	85.4
他	救急患者受入数 (人)	302	403	319	409	531	129.8	
	人間ドック、他健診(人)	2,541	2,488	2,350	2,456	2,146	87.4	
診療所	延患者数 (人)	9,189	9,905	10,506	11,296	11,134	98.6	
	一日平均患者数 (人)	34.0	36.7	39.3	42.3	41.8	98.8	
	訪問診療実患者数 (人)	23	29	54	75	79	105.3	
助産所	分娩件数 (件)	92	67	60	55	61	110.9	
	ショートステイ延受入 (人)	15	35	53	73	91	124.7	

令和4年度についての考察

- ・市民病院の外来患者数の増加要因は、コロナ感染症拡大によるオンライン診療等の大幅な増加によるものです。
- ・市民病院の入院患者数の減少要因は、コロナ病床の確保によるものです。
- ・診療所の患者数の減少要因は、常勤医師1名減の影響によるものです。
- ・助産所のショートステイ利用者数の増加要因は、事業自体が浸透してきたことに伴い、市町村からの紹介が増加したことによるものです。

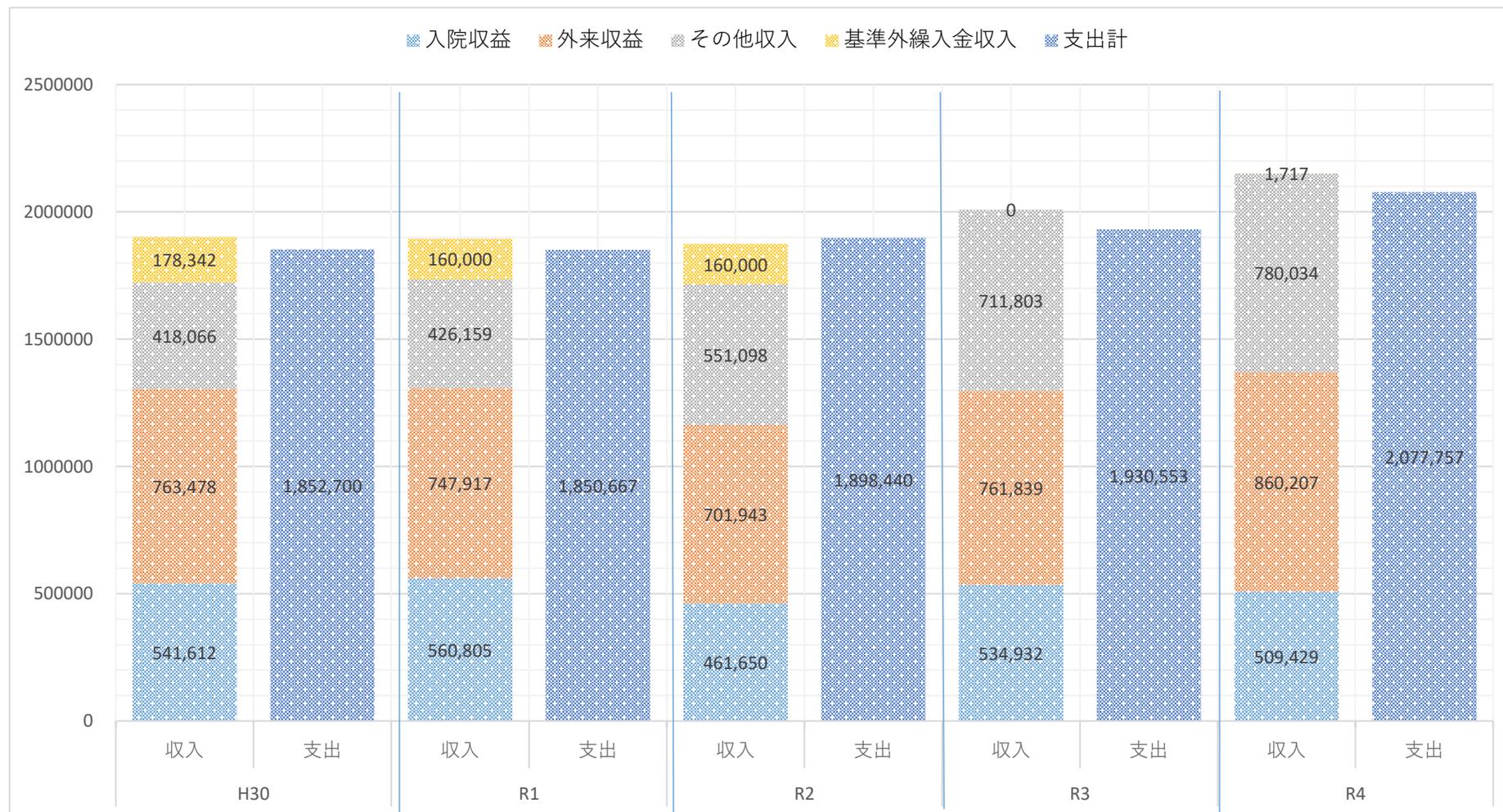
令和4年度決算監査の指摘事項と是正対策等

監査指摘事項	指摘事項に関する是正・改善方法および実施計画
<p>① 新型コロナウイルス感染症予防対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、依然として感染症への対応は必要である。 引き続き、適切な対応に取り組まれない。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の特例措置終了後におきましても、病床の確保をはじめ、コロナ患者の受入れに必要な体制を継続しています。 また、毎月開催している感染対策委員会において、院内感染を防止する対策について協議し、決定事項を職員へ周知していきます。</p>
<p>② 未収金回収の取り組みについて</p> <p>オンライン診療の件数が大幅に増え、発生率は減少してはいるものの、依然として未収金は発生している。 今後のオンライン診療の在り方や、未収金の縮減及び速やかな回収ができるような体制づくりを検討されたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、オンライン診療は終了となりましたが、感染防止対策上、一部の患者において、院外診察室を活用した診療を行うとともに、当日の会計ではなく、後日請求書を郵送していることから、現在も未収金件数の増加傾向が続いております。 未納者に対しては、再受診時に納入相談を行っているほか、10月から未収金回収業務委託により訪問徴収を実施しており、未収金回収体制の強化を図っています。</p>
<p>③ インシデント報告の推奨について</p> <p>医療事故に関して、医療安全管理委員会及び医療事故防止対策委員会を設置し、部署横断的に情報を共有して事故防止に努めている。 今後も、軽微なインシデントであっても報告がされるよう職員の共通認識を醸成し、インシデントの分析及び対策に関する情報共有に努められたい。</p>	<p>医療安全管理者を任命し、医療安全管理委員会及び医療事故防止対策委員会を毎月開催し、医療事故発生防止に取り組んでいます。今後も委員会にてインシデントの分析及び対策について検討し、情報共有をするとともに、年2回の院内研修の実施等により軽微なインシデントであっても報告をすることを職員に意識づけしていきます。</p>
<p>④ 職員体制について</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応では病院従事者総動員体制で対応いただいたことについて労を多としたい。 引き続き常勤医師の確保を含め、職員の適正配置など、働き方改革に取り組むための職員体制の見直しに取り組まれない。</p>	<p>医師等職員の確保や適正配置など職員体制につきまして、今年度策定予定の公立病院経営強化プラン(計画期間:R6～R9年度)を作成する中で、働き方改革の取り組みと合わせ見直しを行ってまいります。</p>

東御市病院事業 決算状況（平成30年度～令和4年度）

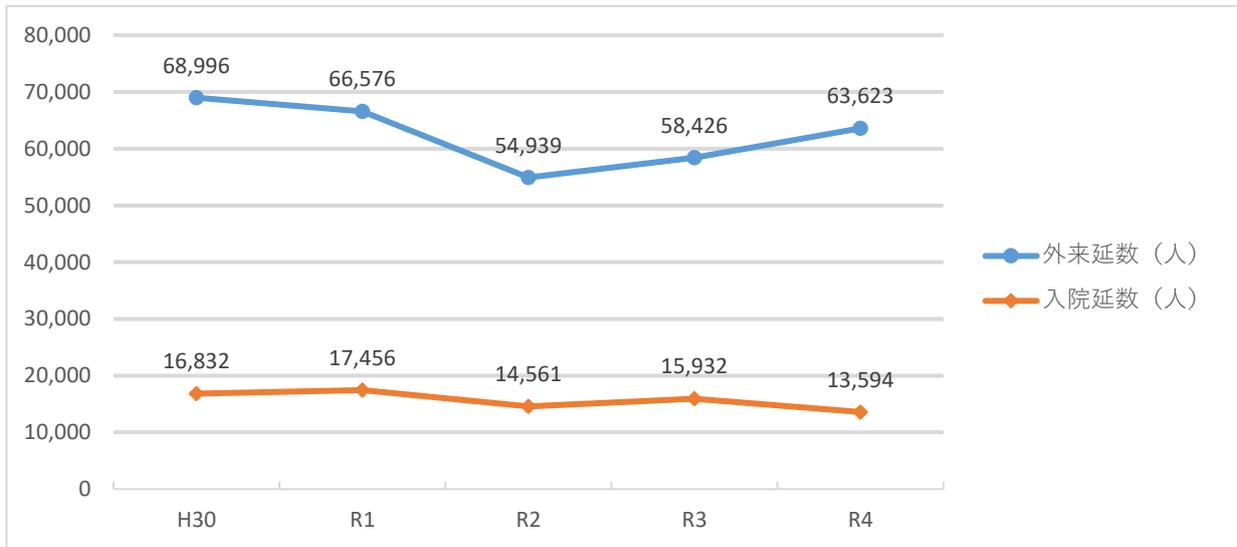
（単位：千円）

平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
収入	支出								
1,901,498	1,852,700	1,894,881	1,850,667	1,874,691	1,898,440	2,008,574	1,930,553	2,151,387	2,077,757

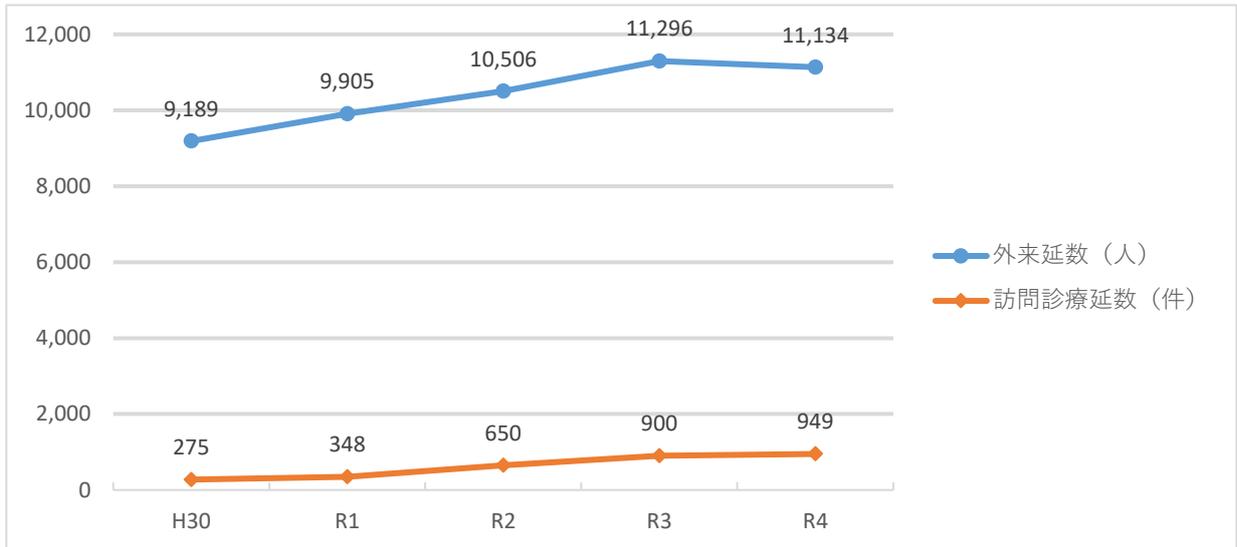


東御市病院事業 事業別患者状況（平成30年度～令和4年度）

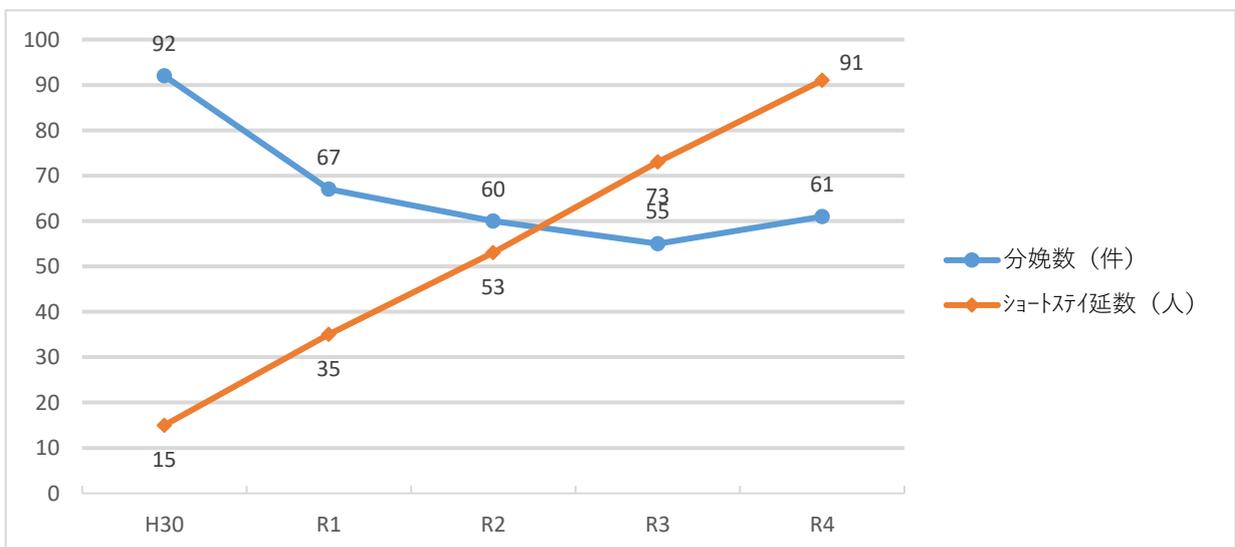
1、市民病院



2、温泉診療所



3、助産所



令和5年度東御市病院事業（4月～9月）収支状況

1、病院事業全体

4月から9月の半期において、前年度と比べて新型コロナに係る補助金収入が減少となったものの入院収益の増加により事業収益が増加し、現時点で事業費用を上回っています。

（単位：千円）

収支項目	令和5年度	R4年度	R1年度	
			比較 (R5-R4)	比較 (R5-R1)
事業収益 ①	1,035,054	1,002,715	32,339	95,638
入院等	326,314	230,189	96,125	35,047
外来	435,323	423,199	12,124	55,993
その他	273,417	349,327	▲ 75,910	4,598
事業費用 ②	844,930	834,499	10,431	50,325
収支 ①-②	190,124	168,216	21,908	45,313

2、事業別収支

(1) 市民病院

（単位：千円）

収支項目	令和5年度	R4年度	R1年度	
			比較 (R5-R4)	比較 (R5-R1)
事業収益 ①	930,293	912,113	18,180	48,089
入院	300,150	209,320	90,830	25,625
外来	369,957	363,400	6,557	28,171
その他	260,186	339,393	▲ 79,207	▲ 5,707
事業費用 ②	756,036	757,872	▲ 1,836	40,446
収支 ①-②	174,257	154,241	20,016	7,643

(2) 温泉診療所

収支項目	令和5年度	R4年度	R1年度	
			比較 (R5-R4)	比較 (R5-R1)
事業収益 ①	78,040	69,317	8,723	38,206
外来	65,366	59,799	5,567	27,822
その他	12,674	9,518	3,156	10,384
事業費用 ②	61,409	51,295	10,114	12,069
収支 ①-②	16,631	18,022	▲ 1,391	▲ 9,506

(3) 助産所

収支項目	令和5年度	R4年度	R1年度	
			比較 (R5-R4)	比較 (R5-R1)
事業収益 ①	26,721	21,285	5,436	9,343
分娩	26,164	20,869	5,295	9,422
その他	557	416	141	▲ 79
事業費用 ②	27,485	25,332	2,153	▲ 2,190
収支 ①-②	▲ 764	▲ 4,047	3,283	11,533

令和5年度東御市病院事業（4月～9月）患者状況

項 目		令和5年度 ①						R4年度 ②		R1年度 ③			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計	合 計	比較①/②	合 計	比較①/③	
市民病院	外 来	延患者数 (人)	5,129	5,521	5,882	5,814	5,819	5,974	34,139	31,059	109.9%	34,011	100.4%
		内 科	1,646	1,629	1,793	1,781	1,847	1,786	10,482	10,400	100.8%	9,267	113.1%
		外 科	169	195	207	184	238	220	1,213	1,392	87.1%	3,183	38.1%
		整形外科	800	778	816	779	868	820	4,861	4,893	99.3%	6,043	80.4%
		小 児 科	1,498	1,736	1,943	1,930	1,731	2,037	10,875	7,735	140.6%	8,261	131.6%
		眼 科	358	465	442	430	443	423	2,561	2,279	112.4%	2,299	111.4%
		透 析	596	666	621	640	624	606	3,753	3,964	94.7%	4,216	89.0%
		産婦人科	62	52	60	70	68	82	394	396	99.5%	742	53.1%
	一日平均患者数 (人)	256.5	276.1	267.4	290.7	264.5	298.7	276	253	109.1%	279	98.9%	
	入 院	延入院患者数 (人)	1,361	1,287	1,368	1,295	1,256	1,285	7,852	6,623	118.6%	8,331	94.3%
		一日平均患者数 (人)	45.4	41.5	45.6	41.8	40.5	42.8	43	36	118.5%	46	94.3%
		病床稼働率 (%)	75.7	69.2	76.0	69.7	67.5	71.3	72	60	118.7%	76	94.3%
他	救急患者受入数 (人)	41	39	43	66	46	47	282	221	127.6%	216	130.6%	
	人間ドック、他健診 (人)	140	199	208	168	187	172	1,074	1,017	105.6%	1,159	92.7%	
診療所	延患者数 (人)	964	893	1,039	944	975	1,018	5,833	5,420	107.6%	4,794	121.7%	
	一日平均患者数 (人)	43.8	40.6	43.3	42.0	44.3	46.3	43	40	107.7%	35	122.7%	
	訪問診療実患者数 (人)	94	95	98	106	98	98	98	81	121.7%	27	370.6%	
助産所	分娩件数 (件)	5	5	4	9	7	6	36	30	120.0%	27	133.3%	
	ショートステイ受入数 (人)	11	7	8	7	9	18	60	53	113.2%	13	461.5%	

令和5年度についての考察

- ・市民病院の外来患者数は、R4年度と比較すると約10%増加しており、またR1年度の患者数を上回っておりコロナ前の水準に戻っていると言えます。
- ・市民病院の入院患者数は、コロナが比較的落ち着いており確保病床数が少なかった時期があったことや常勤医師や看護師の増員により入院患者の受入体制を整えたことでR4年度と比較すると約19%増加しました。
- ・診療所の延患者数は、順調に伸びています。
- ・助産所の分娩数は、増加傾向にあり、ショートステイ利用も順調に伸びています。

東御市病院事業 令和6年度事業方針の検討

1、市民病院の基本理念の変更

今般、国からポストコロナ、公立病院の役割・機能の最適化と連携の強化、経営の効率化を図るため、令和9年度までを計画期間とする「公立病院経営強化プラン」を令和5年度中に策定するよう求められています。

当市においては、令和6年度を初年度とする「東御市病院事業経営強化プラン」を策定するとともに、現院長のもと、新たな基本理念を掲げることといたしました。

2、新しい基本理念

健康と暮らしを守り、支えるコミュニティホスピタル

東御市民病院は市民の健康を守り、暮らしを支える総合的かかりつけ医として安心・安全に「治し、支える医療」を提供し、地域に密着しともに発展するコミュニティホスピタルを目指します。

○コミュニティホスピタル

総合診療を軸に高度急性期以外の医療、リハビリ、栄養管理などのケアを提供する病院。

在宅医療に積極的に取り組み、入院から在宅までを一連の流れとして捉え、地域貢献に主軸を置く。

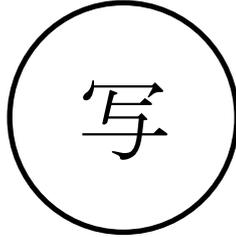
○治し、支える医療

在宅生活を支えるための医療で、患者の最後まで寄り添う医療であり、多職種の連携が不可欠。(複合的な慢性疾患を有する高齢患者の増加などの疾病構造の変化を受け、2016年度診療報酬改定の基本方針などで登場。「治す医療」からのシフトが示された。「治す医療」は高度急性期機能、「治し、支える医療」はそれ以外の機能への再編である。医療提供体制は「治す医療」から、「治し、支える医療」への転換が進められ、各地域のニーズを踏まえた地域医療構想の推進、在宅医療や介護支援を含めた地域包括ケアネットワークの構築がこれまで進められてきた。こうした提供体制を更に機能させるためには、患者に身近な地域で急性期病院や介護施設など他機関と連携し患者・家族の立場に立つて最適の医療・介護が提供されるよう必要な調整を行う「かかりつけ医機能」が必要となっている。)

3、令和6年度事業方針の検討

意見

令和5年11月17日



東御市病院等運営協議会
会長 武藤芳照 様

東御市長 花岡利夫

東御市病院事業経営強化プランの策定について（諮問）

東御市病院等運営協議会条例第1条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

令和9年度を目標年度とする「東御市病院事業経営強化プラン」を策定するにあたり、貴協議会の意見を求めます。

（諮問理由）

国から、公立病院の役割・機能の最適化と連携の強化、経営の効率化を図るため、令和9年度までを計画期間とする「公立病院経営強化プラン」を、令和5年度中に策定するよう求められています。

当市においては、現在、令和6年度までを計画期間とする「東御市病院事業第3次経営改善計画」により、病院事業の改革に取り組んでいるところですが、当計画を点検したうえで、国の計画策定ガイドラインに沿った「東御市病院事業経営強化プラン」を、令和6年度を初年度とする第4次経営改善計画として策定することとしましたので、貴協議会の意見を求めるものです。